

今週のお祈り 聖霊降臨後第16主日特禱(特定21)

あわれみ深い主よ、どうかみ民を赦し、平安を与え、その罪をことごとく清め、穏やかな心をもって主に仕えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



号外 269

発行日 2025年 9月28日

ふと空を見上げると高いところに細かい雲がたくさん。秋の空ですね。日曜学校では 10/12(日)16時～「秋の夕べ」を開きます。詳しくは郵送のお知らせをご覧ください。お問い合わせは教会まで。皆で来てね！！

今週の聖書 ルカによる福音書 16:19-31

19 「ある金持ちがいた。紫の布や上質の亜麻布を着て、毎日、派手な生活を楽しんでいた。20 この金持ちの門前に、ラザロと言う出来物だらけの貧しい人が横たわり、21 その食卓から落ちる物で腹を満たしたいと思っていた。犬もやって来ては、彼の出来物をなめていた。22 やがて、この貧しい人は死んで、天使たちによってアブラハムの懐に連れて行かれた。金持ちも死んで葬られた。23 そして、金持ちは陰府でさいなまれながら目を見えた。24 そこで、大声で言った。『父アブラハムよ、私を憐れんでください。ラザロをよこして、指先を水に浸し、私にラザロのほうは悪いものを受けた。今は、ここで彼は慰められ、お前はもだえ苦しむのだ。26 そればかりか、私たちとお前たちの間には大きな淵が設けられ、ここからお前たちの方へ渡ろうとしてもできないし、そこから私たちの方に越えて来ることもしない。』27 金持ちは言った。『父よ、ではお願いします。私の父親の家



にラザロを遣わしてください。28 私には兄弟が五人いますので、こんな苦しい場所に来ることのないように、彼らによく言い聞かせてください。』29 しかし、アブラハムは言った。『お前の兄弟たちにはモーセと預言者がいる。彼らに耳を傾けるがよい。』30 金持ちは言った。『いいえ、父アブラハムよ、もし、死者の中から誰かが兄弟のところに行つてやれば、悔い改めるでしょう。』31 アブラハムは言った。『もし、モーセと預言者に耳を傾けないならば、たとえ誰かが死者の中から復活しても、その言うことを聞き入れはしないだろう。』

聖書からのメッセージ

司祭 橋本克也

「わたしは、弱くて恰好の悪いアンパンマンを尊敬しています」というドラマの中のせりふに「そうなんだ」と思い納得でした。「あなたがたは、神と富に仕えることはできない。」と言われたイエスさまは、その後できょうの、「金持と貧しいラザロ」のたとえをお話されました。豊かなこと、強いこと、元気で力のあることを多く人は望みますが、「幸せな神の国」とは、みなの違いがとても大切に認められているところでしょう。「幸い」は、本当に互いが尊重しあい、助け合えることに気付かされて、聖書の心を心として、日々の小さなことを丁寧に生きられる世界にあるのだと思います。

にラザロを遣わしてください。28 私には兄弟が五人いますので、こんな苦しい場所に来ることのないように、彼らによく言い聞かせてください。』29 しかし、アブラハムは言った。『お前の兄弟たちにはモーセと預言者がいる。彼らに耳を傾けるがよい。』30 金持ちは言った。『いいえ、父アブラハムよ、もし、死者の中から誰かが兄弟のところに行つてやれば、悔い改めるでしょう。』31 アブラハムは言った。『もし、モーセと預言者に耳を傾けないならば、たとえ誰かが死者の中から復活しても、その言うことを聞き入れはしないだろう。』